

第 3 7 回出雲全日本大学選抜駅伝競走の結果について

- 1 期日 令和 7 年 (2025) 1 0 月 1 3 日 (月・祝)「スポーツの日」
- 2 コース スタート： 出雲大社正面鳥居前 (勢溜)
フィニッシュ： 出雲ドーム前
全 6 区間 4 5 . 1 k m
- 3 放送日時 フジテレビ系列にて全国生中継 (地元は T S K さんいん中央テレビ)
1 3 時 0 0 分 ~ 1 5 時 2 5 分
テレビ視聴率 [フジ T V] 6 . 3 % (前回 (R 6) 5 . 9 %)
[T S K] 1 1 . 5 % (前回 (R 6) 1 1 . 3 %)
- 4 大会結果
- (1) 総合成績 1 位：國學院大學 2 時間 0 9 分 1 2 秒
2 位：早稲田大学 2 時間 0 9 分 5 0 秒
3 位：創価大学 2 時間 1 0 分 0 5 秒
- (2) 区間賞 1 区：岡田 開成 (中央大学) 2 3 分 2 8 秒
2 区：山口 智規 (早稲田大学) 1 5 分 5 7 秒
3 区：ヴィクター キムタイ (城西大学) 2 3 分 4 0 秒
4 区：辻原 輝 (國學院大學) 1 7 分 2 0 秒 区間新記録
5 区：塩出 翔太 (青山学院大学) 1 7 分 5 4 秒
6 区：黒田 朝日 (青山学院大学) 2 9 分 1 5 秒
- 5 第 3 7 回大会について
- (1) 序盤から順位が大きく変動する、出雲駅伝らしいスピード駅伝が展開し、4 区で國學院大學の辻原輝選手が区間新記録の素晴らしい走りでトップに立ち、そのリードを最終区まで守り、國學院大學が 2 年連続の優勝を果たした。
- (2) 出雲市出身の駒澤大学の伊藤蒼唯選手が最後の出雲駅伝で、4 区で区間 2 位の素晴らしい走りを見せてくれた。
- (3) 参加チームの熱いレースやスタート・フィニッシュ付近での学生応援団による応援、沿道での多くの方の熱い声援などを全国の皆様に届けることができた。



6 アイビーリーグ選抜チームについて

国際交流を目的として第10回大会から招致しているアイビーリーグ選抜チームは、東京2025世界陸上に参加したグラハム ブランクス選手が3区で力走するなど、過去最高の総合4位入賞を果たした。

また、未来を担う子供たちへ国際交流の機会提供することを目的に、出雲高校2年生との交流授業を実施し、互いの文化について英語でのコミュニケーションを図った。その後、弓道部の部活動を見学し、日本の文化を体験した。

なお、今回の交流活動の実施などアイビーリーグ選抜チームの継続した招致のために、クラウドファンディングを実施し、多くの方からご支援をいただいた。



7 その他

- (1) 今大会初めて、前田道路株式会社に協賛社としてご協力いただいた。
- (2) 大会運営には、競技役員をはじめ、市民や地元企業・団体、学生等の皆様、また、除草・清掃活動、フラワーポットの設置などのコース沿線の美化活動にボランティア団体皆様など、総勢2,000名の方の協力をいただいた。